

調査書記入上の注意

1. 同一の業績に対し複数（3名以内）の候補者がある場合は、創意工夫功労者賞候補者調査書（様式2）の1～4の項目については全ての候補者分作成し、5の項目については共通資料として1業績分作成すること。
2. 同一事業所から複数の業績について候補がある場合、推薦順位を必ず記載すること。
3. 「業績名」欄に記載する業績名については、創意工夫の特徴をとらえた簡潔な表現とし、語尾は「考案」、「改良」、「改善」の3種から選択することとし、文字数は語尾を含めて合計23文字以内とすること。
なお、原則として業績名には商標、商品名、会社名及び句読点等（（ ） 「 」 ・ 、 。 ）を使用しないこと。
また、字間は空けず、業績名の読み仮名についても記載すること。
4. 候補者氏名は戸籍簿等に記載の字画のとおり正しく楷書で記載し、ふりがな（ひらがな）を付すこと。
また、候補者氏名は、戸籍に記載されている旧姓も使用可とする。
例：渡辺の場合、戸籍簿に“渡邊”とあれば「渡邊」と記載
5. 候補者の年齢は、令和6（2024）年4月1日現在の満年齢を記載すること。
6. 「最終学歴」欄について、学校の名称が制度改正等で変わった場合は、現在名をかつこ書きで付記すること。
例：栃木県立宇都宮農業高等学校（宇都宮白楊高等学校）のように記載
7. 「候補者の人格」欄については、候補者の人格信用状況等を簡潔に記載すること。
8. 「現在の勤務先の概要等」「候補者の職歴」欄について、株式会社は（株）と記載すること。
例：「〇〇〇（株）〇〇工場」のように記載。
また、事業概要は、候補者の勤務する事業所の事業内容を簡単に記載すること。
9. 「候補者の地位」欄については、例えば「〇〇〇（株）〇〇課〇〇職長」のように具体的に記載すること。なお、候補者の勤務上の地位が一般的な職名でない場合には、かつこ書きで「～相当」として一般的な職名（係長、職長、班長、係員等）で示すこと。
10. 「現在の職場」欄については、かつこ書きで令和6（2024）年4月現在までの通算勤務年数を記載すること。
11. 受賞歴（本業績に関するものに限る。社内・社外表彰等）の欄については、本業績に関して、候補者が受賞した主な表彰を記載すること。また、受賞歴（科学技術分野の文部科学大臣表彰）の欄については候補者が過去に科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞している場合は、本業績に関わるものに限らず全て記載すること。
12. 「創意工夫の内容」欄については、（1）背景（作業等の全体のイメージを含む）・着眼点、（2）科学的・技術的な要素を含む考案点、改良点を具体的に、分かりやすく、かつ1ページに納まるように記載すること。
13. 「創意工夫の実績」欄については、当該創意工夫によって、その職場の能率の向上、製品の増大、コストの引き下げ、未利用資源の活用、資材の節約、災害防止等に役立った実績を極力数値化して記載すること。
14. その他、業績の説明に役立つ写真、図表等があれば概要説明書（様式任意）を添付することとし、概要説明書は、必ず上部に業績名を記載し、3ページ以内の範囲で作成すること。
15. A4 縦用紙（フォントサイズ10.5 ポイント以上）で作成することとし、記入欄や余白の大きさは変更しないこと。（手書き不可）
16. 創意工夫功労者賞候補者調査書（様式2）の作成に当たっては、令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰推薦要領の「申請書類の作成のポイント」「申請書類の作成の例」（https://www.mext.go.jp/content/20230526-mxt_sinkou02-000029650_1.pdf）を参考にすること。